

「川場学園」開校準備室だより

令和5年9月15日（金）発行 第5号（発行：川場村教育委員会 開校準備室）

「川場小・中学校 合同運動会」が盛大に開催！



9月9日（土）に川場小中学校運動会が、昨年度に引き続き合同で開催されました。本年度は、村のサッカーグラウンドを会場にして、保護者の皆様や地域の方々など多くの観客の皆様のお応援のもと、天然芝の上で小中学生が思い切り競技することができました。また、心配された台風も、台風が通り過ぎた絶好の運動会日和となり、天気も味方して盛大な合同運動会となりました。



本年度は、小中共通のテーマ「自分の力をみんなの喜びのために」を設定しました。それを基に小学校では、「最後まで気持ちを一つに」とめ、優勝目指し輝く姿勝つ印」、中学校では「百花繚乱～たくさんの笑顔を咲か員準備せよ～」と、それぞれ掲げ、小中それぞれの特色を生かしながら全準備力を合わせて当日の運動会を成功に向けて取り組んでまいりました。小学校3年生から中学校3年生まで、それぞれの役割を自覚しながら責任を果たすとともに、各競技に全力で取り組むことのできるよう、小中学生がお互いのよさを発揮しながら協力し合い、運動会を大成功させたと、そして先生方も「自分の力をみんなの喜びのために」の実現に向けて、小中の垣根を越えて手を合せて協力し、時に陰に力になり子どもたちを支え続けたいと、令和7年度の川場学園の開校に向け、大きな一歩を踏み出すことができましたと実感しました。



第4回「開校準備委員会」で通学カバンの方向性が決まりました

8月29日（火）に今年度の第4回準備委員会が開催されました。今回（第4回）は、「通学カバン等が自由化された場合のメリットとデメリット」をまとめた資料を基に、通学カバンの方向性について話し合いました。決めて、それに沿ったカバンを各家庭で見つけて購入するのがよいのではないか、「指定品と各家庭で選んだカバンを場面によって使い分けるのも自由化の一つではないか」、「義務教育の役割を考えると、高校生や大学生、また社会人になったときに正しい判断で自由を獲得できるように、義務教育で指定の通学カバンを使用するなどして川場学園に誇りを持ったり所属感を得たりする中で、正しい判断力を身につけ、段階を踏んで自分たちの考えで改善していけるようにしていくことが大切ではないか」、など多様なご意見をいただきました。これらの意見と川場小中学校の実態を踏まえ、令和7年度に川場学園が開校するにあたり、落ち着いて学校生活が始めることができるようにするためにはどうしたらよいかを話し合い、下記のように決定しました。

【通学カバンの方向性】

川場学園の通学カバンについては、7年生以上は新しい指定の通学カバンとする。但し、既存の川場中の通学カバンの使用も可とする。なお、新規に既存の通学カバンの購入はできない。また、6年生以下については、今まで通り自由とする。



協議終了後、決定事項に沿って各業者の推奨サンプル（5業者7点）と説明資料を基に、各準備委員さんがそれぞれの推奨サンプルの採点を行いました。

今後、採点の集計結果を基にして開校準備委員会で通学カバンを選定し、教育委員会において決定していきます。



開校に向けての準備の進捗状況等につきまして、ご不明な点等ございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

川場村教育委員会 開校準備室（室長：井口昌之 0278-52-3458）